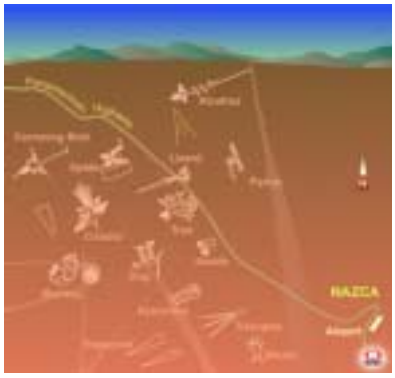
東京ＦＩＡニュース

第３９号　2007年1月16日　東京国際農業者協会

平成１８年度「壮行会」記念講演
「ある日本人ペルー移住者の生きざま」

ＪＩＣＡ横浜国際センター　海外移住資料館ボランティア
八重尾直忠（米３/S33 年）



日時：2月4日（日）　14：30～

会場：国立オリンピック記念青少年
　総合センター　「センター棟513」

会費：無料

＊詳細は裏面をご覧ください

今回は、わが国の農業者の海外移住に永年たずさわってきた八重尾兄から海外移住の歴史と今後の国際協力についてお話しいただきます。

■　八重尾直忠氏プロフィール

- 鹿児島県生まれ　７３才
- 昭和33年　米国３年制派米事業参加
- 昭和36年　帰国
- 昭和37年～40年
  鹿児島県国際農友会（渡米前研修担当）
- 昭和40年～48年
  海外移住事業団
- 昭和48年～平成4年
  国際協力事業団
- 平成4年～7年
  ＪＩＣＡ派遣農業専門家
  （任地：パラグアイ農業総合試験場）
- 現在　ＪＩＣＡ横浜国際センター海外移住資料館

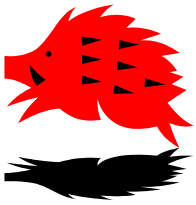
ハイライト：

- 記念講演　「ある日本人ペルー移住者の生きざま」
- サンクスパーティー
- イベント　ＪＡＥＣスキーの集い

目次：

壮行会記念講演	1
基金への寄付状況	3
サンクスパーティー	4
「都会人流」に参加して	5
イベント案内	6

明けまして
おめでとうございます



壮行会記念講演および懇親会のご案内

日時：2月4日(日)　14：30～
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟　513号室
会費：講演会　無料
懇親会　3,000円（本年度推薦者は無料）

＜スケジュール＞

12:30～14:00	役員会
14:00～14:30	受付
14:30～16:00	講演
16:00～16:30	質疑応答
17:00～19:00	懇親会

― 会場へのアクセス ―

◎小田急線
・参宮橋駅下車　徒歩約7分
◎地下鉄千代田線
・代々木公園駅下車　徒歩約10分
（代々木公園方面4番出口）
◎地下鉄千代田線
・代々木公園駅下車　徒歩約10分
（代々木公園方面4番出口）

◎バス
・新宿駅西口（16番）より
代々木５丁目下車
・渋谷駅西口（14番）より
代々木５丁目下車

◆講演会・壮行会参加申込書　　**締切　1月２６日（金）必着**

氏　名			
住　所			
連絡先			
講演会	・参加	・不参加	（どちらかを○で囲んでください）
懇親会	・参加	・不参加	（どちらかを○で囲んでください）
メ　モ			

電話
03-5703-0254
FAX
03-5703-0255
電子メール
adachi@jaec.org

役員会　当日12時半より	
・出席	・欠席
＊役員の方のみご記入下さい	

基金へのご協力ありがとうございました！！

前号でみなさまに呼びかけました(社)国農協の「基金造成キャンペーン」にたくさんのご協力をいただきました。ご寄付いただきました方々に厚く御礼申し上げます。12月25日に本年度当会拠出分5万円を添えて全額を基金へ拠出いたしました。お陰様で今回をもって当初の割当目標額に達することができました。今後は基金が研修事業推進に活かされるよう十分に見守っていきましょう！　引きつづき基金へのご協力をお願いできれば幸いです。

■基金造成キャンペーン寄付状況

大森　斎	様
石田　秀樹	様
大谷　裕一	様
本間　惇	様
植木　義一	様
清水馨二郎	様
内木　秀道	様
計　324,000円	

＜国際農業交流事業推進基金とは＞＊国際農業者交流協会HPより抜粋

国際農業者交流協会（以下「協会」という）では、昭和63年3月の発足以来、１）農業研修生の海外派遣事業、２）海外農業研修生の受入事業、３）帰国後活動の支援　を３つの柱として、国際的な農業担い手の育成を推進してきました。

３本柱の１つである「帰国後活動の支援」には、研修後の情報交換やOB・OGの交流会、そして各県組織の活性化などが含まれますが、これらの活動がいかに重要であるかは、皆さま十分認識されていると存じます。

かつてはそのような帰国後活動支援のためにも国の補助金が出ておりましたが、残念ならが現在は状況がかなり変わってしまいました。

そのような背景のもと、平成元年度第２回通常総会の懇親会の場で、「もはや『補助金に頼る時代』は終わった。事業の充実強化を図るためにも、自主財源を集おう！」との提案がなされました。

こうして、OBOGの、OBOGによる、OBOGのための『国際農業交流事業推進基金』がスタートしました。

■基金果実活用実績

・ブロック営農研究会開催県への助成
各組織10万円・・・本年度５組織
（山形県、茨城県、福井県、岡山県、鹿児島県）
・特別プロジェクト団体への助成
各団体10万円・・・本年度２団体（東京FIA、北海道）
・海外派遣農業研修生への貸付
25万円無利子・・・１２名の特待生決定

サンクスパーティー in 中華街

12月14日（木）、横浜中華街で恒例のサンクスパーティーを開催しました。今回は本間会長の「東京農大経営者大賞」受賞のお祝いも兼ね、会長の奥様にもご出席いただき、華やかな集いになりました。
また、「おめでた」つながりで参加ＯＧから「結婚宣言」が相次ぎ、大いに盛り上がりました。

本間会長の挨拶

伊藤顧問　乾杯の挨拶

本間会長ご夫妻に御祝の写真立てと花束を贈呈しました

時間が経てば和気藹々となりました

「都会人流」に参加して

石坂　亜紀（H11／スイス）

■11月11日に本間会長の東京農業大学エクステンションセンター・セミナー「都会人流・食と農のかかわり」を聴講しました。セミナー開始の15分前にもかかわらず、すでに大勢の聴講生が着席していたので私は前から2番目に席をとりました。こんなに前の方の席だと、質問された時に指されてしまう・・・と、心配をすることも無く本間会長の質問に大勢の聴講生が挙手していました。みんな熱心だなーと思われるでしょうが「本間流・授業に引き込む技」が発揮されているからなのです。それは脇のテーブルには聴講生から良く見えるように、かぼちゃや玉ねぎ、りんごジュースが並べてあります。もちろん講座の教材でもあり、質問に答えて正解の方への景品でもあるのです。例えばかぼちゃですが、「空飛ぶパンプキン」という商品名です。一目瞭然、市販されているかぼちゃが皮をむいて料理しなくてはいけないくらい、そのかぼちゃは綺麗なのです。なぜ綺麗かと言うと、普通は地這いの栽培方法ですが「空飛ぶパンプキン」はハウスのパイプに這わせた立体栽培のため日焼けも変形も無いそうです。また1本の苗に1個の実しか付けないので栄養価も高く、大変貴重なのです。スーパーにただ雑然と並べられている輸入物のかぼちゃにはそのようなドラマが存在するのでしょうか？

■このように、生産者と消費者の間に入るポジションでお仕事をなさっている本間会長ならではのお話はなかなか聞く機会が無いものです。そう考えると、最近直売所が流行っているのも頷けます。生産者の声や姿が近い場所での野菜の購入はスーパーで買うよりもドラマを感じることが出来るからではないでしょうか。このように野菜の生産現場が閉ざされたものでなく消費者に身近に感じてもらえるようになれば、自然に「国産の物を買おう、地場産の野菜を買おう」という方向になるのではないでしょうか。

■午後は特別講師として二人の女性、徳島県の大塚化学の嵯峨山さんと京都で動物の飼料を生産している西窪さんのお話を伺いました。またも本間流と感心してしまうのは女性の視点での農業を語らせることです。多くの方は農業は男性の仕事で女性は陰ながらの立場、男性が担っている世界に感じているのではないでしょうか。しかし実際は女性の采配や努力なくして農家や農業は成り立ないのでは・・・ということを想像させる、女性の立場から見た農業のお話も楽しく聞く事が出来ました。特に西窪さんは家族経営の農業において、労働力として・妻として・母としての立場には苦労も多かったようですが、元気に素敵な笑顔でお話される姿に学ぶべきことが沢山ありました。

■４時間という短い時間ではありましたが、農業者の私も一消費者でありますので大変良い勉強になりました。広い視野で時代の必要としているものを今後の仕事に生かしていきたいと思いました。

講演の様子

－　編集発行 －
東京国際農業者協会
〒144-0052
大田区蒲田5-39-2-6F
（社）国際農業者交流協会内
TEL:03-5703-0254
FAX:03-5703-0255
発行責任者：村田　正
E-MAIL:farm@planet.nifty.jp

イベントのご案内

The 15th JAEC Ski Meeting

～今年度もやります！　2月中旬、新潟県胎内市（旧黒川村）へ集合！！！～

冬の恒例行事、お待ちかねのOB･OGスキーの集いが、今年も新潟県胎内市のOBのみなさんのご協力のもと開催されます。スキー大会、レクリエーションなど楽しいイベントが盛りだくさん、そして幻想的な雪上花火も待っています。ご家族、同期の方々をお誘い合わせのうえ、是非ご参加ください！

期　日：　2月16日（金）～18日（日）　部分参加可

場　所：　新潟県胎内市胎内スキー場

宿　泊：　ロイヤル胎内パークホテル

参加費：　30,000円　全日程参加の場合

（宿泊食費、リフト代、レンタルスキー･ウェア代、レッスン料込）

連絡先：　0254-48-2211（担当：宮野仁ＯＢ）

e-mail：　rph@city.tainai.niigata.jp

ホームページ：　http://www.tainai.info/

雪上花火大会！

■編集後記

12月にタイ・チェンマイで開催されている国際園芸博覧会に日本花の会の出展スタッフとして参加した。日本から切り出したサクラやレンギョなどと現地で調達したランの花などを使って日本の屋内展示ブースに装飾をした。タイ国王の80歳の誕生日と即位60周年を祝う博覧会だけあって会場は連日タイ国内からの観光客で大賑わいだった。博覧会滞在中は１日に２回、１時間ほど折り紙やけん玉など日本文化の紹介のイベントを行い、地元の子供たちと交流した。日本にいてもめったにやらないことだけにぶっつけ本番のけん玉は、初日から特訓状態。なにしろタイの子供達に日本人として恥ずかしいところは見せられないから・・・。２日もするとそこそこ上手くなって、子供たちにも拍手をしてもらえるくらいには上達して何とか面目を保つことができた。博覧会での作業の後、タイの少数民族の子供たちの支援施設でサクラの植樹に参加した。
華やかな博覧会と山奥の支援施設、サクラが結んだ「刹那（せつな）」と「永久（とわ）」の旅だった。　村田

民族衣装で着飾った子供たち

歓迎のパフォーマンス

アカ族の村を象で巡る